

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公表番号】特表2013-531688(P2013-531688A)
 【公表日】平成25年8月8日(2013.8.8)
 【年通号数】公開・登録公報2013-042
 【出願番号】特願2013-519601(P2013-519601)
 【国際特許分類】

A 0 1 N 43/60 (2006.01)
 A 0 1 P 3/00 (2006.01)
 A 0 1 P 21/00 (2006.01)
 C 0 7 D 241/08 (2006.01)
 C 0 7 D 403/06 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 43/60
 A 0 1 P 3/00
 A 0 1 P 21/00
 C 0 7 D 241/08
 C 0 7 D 403/06

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成27年6月9日(2015.6.9)
 【誤訳訂正1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 9
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 9】

本発明の農業的薬剤に含まれる賦形剤、希釈剤は、農業分野で通常的に使用されているもので、例えば、珉藻土、消石灰などの酸化物、燐灰石などのリン酸塩、石膏などの硫酸塩、クレイ、カオリン、ベントナイト、酸性白土、石英、シリカなどの鉱物質粉末などの固体担体と充填剤、抗凝集剤、界面活性剤、乳化剤、防腐剤などをさらにも含んでもよい。また、本発明の農業的薬剤を植物に処理して活性成分を迅速放出、徐放出、遅延放出するように当業界の公知方法を用いて剤形化してもよい。剤形化のためには、通常的に使用する界面活性剤、希釈剤、分散剤、補助剤などの添加剤を活性成分と配合して水和剤、懸濁剤、乳剤、乳濁剤、微乳濁剤、液剤、分散性液剤、顆粒水和剤、粒剤、粉剤、液状水和剤、水面浮上性粒剤、錠剤などの各種形態に製剤化して使用してもよい。

【誤訳訂正2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 1 0 2
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 1 0 2】

製剤例2

乳剤

化学式1の化合物10g、DDY2000(界面活性剤)10g、キシレン80gを混合して乳剤を製造した。